いちのみやの社会福祉

2010
10月号 No.17
発行　社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会
福祉のまちづくり

障害者スポーツ大会（児童も交流参加）

もくじ

・平成21年度 事業報告 …… 2
・平成21年度 決算報告 …… 3
・平成22年度 会員加入状況・善意のご寄付… 4
・赤い羽根共同募金にご協力を…… 5
・地域福祉サービスセンターだより…… 6
・ボランティア養成講座
　里親ボランティア募集…… 7
・第22回福祉とボランティア活動展 …… 8・9
・ボランティア福祉体験学習事業報告……10
・催しもの案内……11
・ケアマネジャーだより……12
・「傾聴」って何ぁーに？……13
・編集ボランティアのページ……14・15
・社会福祉協議会の事業から……16

平成21年度 主な事業報告

ふれあいのまちづくり推進事業

○会員会費等を財源として、支会組織の充実強化並びに地域福祉事業を推進しました。

ボランティアセンター活動事業

○地域住民の社会奉仕に関する理解と関心を深め、ボランティア活動の育成援助と必要な連絡調整を密にし、社会福祉の増進を図るため、ボランティアセンター事業を推進しました。

・登録者数　299グループ（11,866名）　個人 290名

・市民啓発事業として、福祉フェスティバル「みんなと一緒に”福祉とボランティア活動展”」を開催しました。延べ5,000名参加。

共同募金配分金事業

○老人福祉活動事業	100歳以上の高齢者へ長寿祝いを贈り、敬老の日等行事に協力し、助成をしました。
○障害児・者福祉活動事業	各障害児・者団体の行事等に協力し、助成をしました。
○児童・青少年福祉活動事業	福祉実践教室の開催、児童・青少年福祉活動に協力し、助成をしました。
○母子・父子福祉活動事業	母子育成事業等に協力し、助成をしました。
○福祉育成・援助活動事業	低所得者階層への援助及び広報紙を発行し、市民福祉啓発に努めました。
○ボランティア活動育成事業	ボランティアの地区活動推進及び登録ボランティアグループに助成をしました。
○歳末たすけあい配分金事業	ひとり暮らし老人へ慰問を行い激励しました。

居宅介護等事業

○訪問介護員が介護保険法及び障害者自立支援法に基づく、居宅介護サービスの提供及び一宮市から受託した介護等事業を実施しました。

・サービス提供回数（延べ回数）

指定訪問介護事業(介護保険事業)	63,699回
指定居宅介護事業(障害福祉サービス事業)	20,137回
移動支援事業	1,806回
難病ホームヘルパー派遣等事業	156回
軽度生活援助事業	3,318回
育児支援家庭訪問事業	109回
シルバーハウジング生活援助員派遣事業	103回

居宅介護支援事業

○介護支援専門員が介護保険法に基づく適正な居宅介護支援を行いました。

・居宅介護支援件数（延べ件数）

介護認定調査	441件
ケアプラン作成	4,224件
介護予防ケアプラン作成	1,046件

福祉サービス利用援助事業

○自らの判断で適切な福祉サービスを受けることが困難な認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等が地域で自立した生活が送れるように福祉サービスの利用援助を行いました。

地域福祉サービスセンター事業

○在宅の要援護者及びその家族等を対象に、福祉に関する相談に応じ、適切な福祉サービスが提供されるよう総合的な連絡・調整を行い援助しました。

基金運営事業

○基金の趣意啓蒙を行い基金の造成に努め、その利息及び寄付金にて、歳末慰問援護事業を実施しました。

平成21年度 一宮市社会福祉協議会 一般会計決算報告

一宮市社会福祉協議会では、去る５月27日（木）に理事会、評議員会を開催し、平成21年度事業報告及び決算について認定、承認を受けました。

地域福祉の推進と在宅福祉サービスの充実を基本方針として実施することができました。ここに市民の皆様、関係各位のご協力を厚くお礼申し上げるとともに、決算報告をいたします。

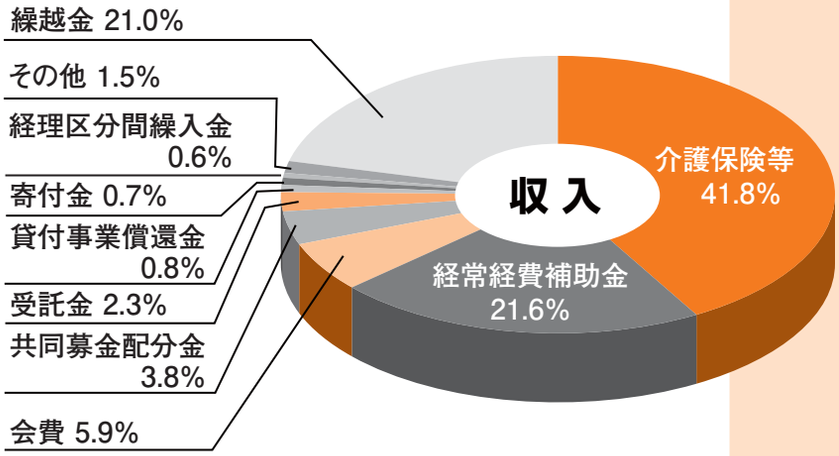
なお、詳細につきましては本部事務所で閲覧できます。

収入決算額　924,596,103円

収　入

（単位：円）

介護保険等	387,319,186
経常経費補助金	200,249,188
会費	54,262,420
共同募金配分金	35,224,430
受託金	21,123,901
貸付事業償還金	6,944,750
寄付金	6,171,654
経理区分間繰入金	5,286,284
その他	13,915,885
繰越金	194,098,405
合計	924,596,103

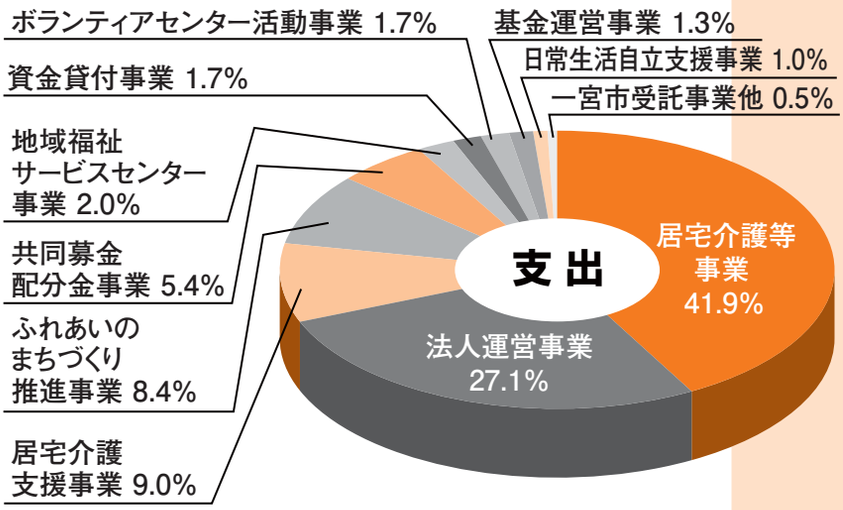


支出決算額　672,755,047円

支　出

（単位：円）

居宅介護等事業	281,771,518
法人運営事業	182,113,868
居宅介護支援事業	60,583,932
ふれあいのまちづくり推進事業	56,622,248
共同募金配分金事業	36,516,113
地域福祉サービスセンター事業	13,543,796
資金貸付事業	11,710,172
ボランティアセンター活動事業	11,480,817
基金運営事業	8,462,101
日常生活自立支援事業	6,606,907
一宮市受託事業他	3,343,575
合計	672,755,047



平成22年度 一宮市社会福祉協議会会員加入状況

社会福祉協議会会員にご加入いただきありがとうございます

今年度も社会福祉協議会への会員加入をお願いしましたところ、市民の皆様方に多数のご理解とご協力を得ることができました。ご加入くださった方々、また加入促進にご協力いただいた方々に心からお礼申し上げます。市民の皆様方から頂いた会費は、高齢者・障害者・子育て・母子父子・地域福祉など社会福祉事業推進のために活用させていただいております。

なお会員加入につきましては、平成23年3月31日まで受付けておりますので、未加入の方におかれましては、社会福祉協議会の諸事業にご理解いただき、ご加入くださいますようお願いいたします。

支会名	一般会員：1口 500円		法人会員：1口 1,000円		計	
	会員数	金額（円）	会員数	金額（円）	会員数	金額（円）
宮西	2,840	**1,734,400**	0	**0**	2,840	**1,734,400**
貴船	3,131	**1,565,500**	1	**50,000**	3,132	**1,615,500**
神山	2,855	**1,274,100**	53	**330,000**	2,908	**1,604,100**
大志	2,141	**1,070,775**	92	**666,000**	2,233	**1,736,775**
向山	2,568	**1,284,000**	45	**147,500**	2,613	**1,431,500**
富士	4,173	**2,086,500**	0	**0**	4,173	**2,086,500**
葉栗	4,749	**2,374,500**	0	**0**	4,749	**2,374,500**
西成	10,472	**5,236,450**	0	**0**	10,472	**5,236,450**
丹陽	8,942	**4,471,100**	0	**0**	8,942	**4,471,100**
浅井	6,051	**3,025,500**	0	**0**	6,051	**3,025,500**
北方	3,124	**1,562,000**	0	**0**	3,124	**1,562,000**
大和	9,087	**4,543,775**	0	**0**	9,087	**4,543,775**
今伊勢	6,858	**3,429,000**	0	**0**	6,858	**3,429,000**
奥	4,066	**2,033,000**	0	**0**	4,066	**2,033,000**
萩原	5,405	**2,702,800**	0	**0**	5,405	**2,702,800**
千秋	5,448	**2,724,000**	0	**0**	5,448	**2,724,000**
起	※1,065	**532,500**	0	**0**	1,065	**532,500**
小信中島	※2,957	**1,478,500**	0	**0**	2,957	**1,478,500**
三条	※3,659	**1,829,500**	0	**0**	3,659	**1,829,500**
大徳	※2,936	**1,468,000**	0	**0**	2,936	**1,468,000**
朝日	※3,805	**1,902,500**	0	**0**	3,805	**1,902,500**
開明	※2,275	**1,137,500**	0	**0**	2,275	**1,137,500**
木曽川町	6,256	**3,130,500**	31	**117,000**	6,287	**3,247,500**
計	104,863	**52,596,400**	222	**1,310,500**	105,085	**53,906,900**

表中の※は一般会員の中に法人分も含まれています。　（平成22年7月31日現在）

善意のご寄付ありがとうございました

平成22年4月1日～7月31日　（敬称略・順不同）

エス・ビー建材（4回）	グラウンドゴルフ尾西クラブ
二ノ宮　進	開明小学校1・2年生
渡辺　英房	故豊島　比佐子
奥グラウンド・ゴルフクラブ	大山　泰子
児玉　定	木全　静子
尾西モラロジー女性クラブ	北黒田西部第一多賀会
アキトチ工務店	桜JAPAN
木曽川すいせん会	明地西睦会西阿古井
木曽川町仏教会	平成21年度はつらつ農業塾一宮卒業生一同
市民活動フリマ愛好会	匿名　7件
愛知県宅地建物取引業協会西尾張支部	

合計　15,181,942円

赤い羽根共同募金にご協力を

期間：10月1日～12月31日

平成22年度
一宮市共同募金委員会目標額 **45,800,000円**

共同募金　Q＆A

Q1 共同募金で集まった寄付金はどういうところに使われるのですか？

A 民間の社会福祉団体や施設、ボランティア団体などに配分され、お年寄りや障害のある方、子どもたちのために役立てられます

Q2 なぜ家庭で募金したのに街頭や職場でも募金するのですか？

A 国民総参加を目指す募金運動であるため、できるだけ多くの方が福祉に参加できるよう様々な募金方法を提示しています

○街頭募金の実施
・日　程　１０月１日（金）・3日(日)
・場　所　JR尾張一宮駅前、名鉄一宮駅前、
　　ショッピングセンターなど

○赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール入選作品の展示
・日　程　10月16日（土）午後１時～4時
　　17日（日）午前10時～
　　午後３時30分
・場　所　一宮スポーツ文化センター　１階
　（第22回　福祉とボランティア活動展会場）

今年も皆様のご協力をお願いします。

赤い羽根
共同募金

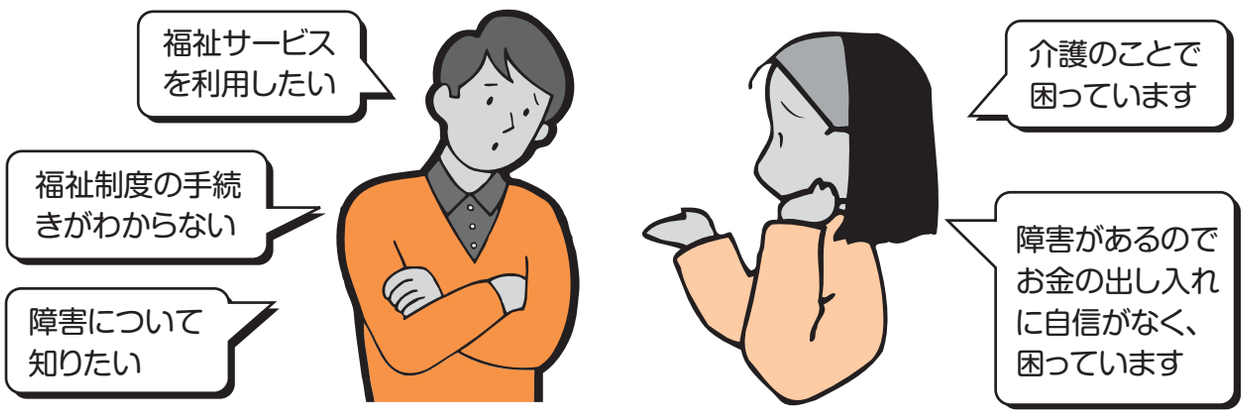
一宮市共同募金委員会

地域福祉サービスセンターだより Vol.1

地域福祉サービスセンターは、福祉に関する総合相談窓口です。

相談無料・秘密厳守

くらしの中で困っていること、悩んでいることはありませんか?ぜひご相談ください!



地域福祉サービスセンターの利用と福祉サービスを受けるまでの流れ

1. 相談・受付

困っている状況をお聞きし、福祉サービス等の情報提供を行い、問題解決に向けて共に考えます

2. 訪問・調査

職員が必要に応じて自宅を訪問し、身体やこころの状況をお聞きし、把握につとめます

3. 福祉カルテ登録

福祉カルテに記録することで、より早く的確で継続的な援助を行うことができます

対象は?

- 身体障害児・者
- 知的障害児・者
- 精神障害者
- 母子・父子家庭
- その他援助を必要とする方

4. 関係機関との連絡調整と手続き

必要な制度やサービスが受けられるように連絡・調整したり、手続きを行います

5. サービス利用

福祉サービスの利用開始。サービス利用後も生活の変化に応じて、その都度支援します

一宮市社会福祉協議会　地域福祉サービスセンター

本部（TEL２４－２９４０）　尾西支部（TEL６３－４８００）

参加者を募集

障害者スポーツサポートボランティア養成講座

日　　時	会　　場	内　　容
11月12日（金） 午後1時30分～4時	一宮市高齢者 生きがいセンター	講義：障害者福祉概論
11月19日（金） 午後1時30分～4時	木曽川体育館	実技：フライングディスク体験実習
11月26日（金） 午後1時30分～4時	木曽川体育館	実技：カローリング体験実習
12月10日（金） 午後1時30分～4時	一宮市高齢者 生きがいセンター	講義：障害者スポーツについて

対　　象：市内在住・在勤で障害者スポーツに関心のある方
定　　員：10人（先着）
料　　金：無料
申し込み：10月4日（月）午前9時から電話で社会福祉協議会木曽川支部（87-2000）

視覚障害者パソコン教室

日　　時	10月22日～12月10日の金曜日（８回）　午後1時30分～4時30分
会　　場	一宮市高齢者生きがいセンター
対　　象	市内在住の視覚障害者（１級・２級の方）
内　　容	視覚障害者が、日常生活の上で情報取得及び発信を容易にするため パソコン技術を学びます
定　　員	6人（先着）
料　　金	1,000円　（教材費）
申し込み	10月8日（金）午前9時から電話で社会福祉協議会木曽川支部（87－2000）

里親ボランティアを募集!!

一宮市社会福祉協議会では、児童養護施設の入所児童が心身ともに穏やかに成長するための一環として、児童に一般家庭での生活体験をしてもらおうと「里親ボランティア事業」を実施しています。

この事業は、1週間程度里親さんとして施設の児童を預かっていただき、児童に家庭の温かさを体験してもらうものです。

実施期間は、5月のゴールデンウイーク、お盆、年末年始の年3回です。

ボランティアさんとしてご協力いただける方は、本部(TEL24－2940)へご連絡ください。

んなと一緒に
ィア活動展

入場無料

先着入場者
500人（両日とも）
粗品進呈!!

3　階

福祉映画会　ウォルトディズニー作品
「カールじいさんの空飛ぶ家」
（16日（土）　13:30～）

福祉講演会
テーマ「21世紀の超少子高齢社会を豊かに生きる」
同朋大学社会福祉学部社会福祉学科
教授　伊 東 眞理子 氏
（17日（日）　13:00～）

体験コーナー
●手話・点訳・朗読・車いす・高齢者擬似・障害者パソコンを体験しましょう。
※体験コーナーを2か所以上まわられた方は、ビンゴゲーム大会に参加できます。

4　階

福祉推進校、児童施設・団体活動紹介展

おもちゃ図書館コーナー
おもちゃで楽しく遊びましょう。

ぬりえ受付
※幼児・児童対象

風船つり・輪投げ

ビンゴゲーム大会
（16日（土）　15:30）
（17日（日）　11:30・14:00）
※1人1回限り

クイズラリーにちょうせん!

会場内の10か所でクイズに答えてください。
☆参加者全員にジュースをおわたしします。
☆8問以上正解された幼児～高校生の方には次のいずれかの1つに参加できるお楽しみがあります。

ビンゴゲーム　風船つり　輪投げ

※都合により催し物の一部が変更になる場合があります。

第22回 みん

福祉とボランテ

と　き　平成22年10月16日(土)　13:00～16:00
　　17日(日)　10:00～15:30

ところ　一宮スポーツ文化センター　(1F・2F・3F・4F)
　　一宮市真清田1−2−30(真清田神社西)

主な催し物

社会福祉法人
日本介助犬協会提供

1　階

共同募金

啓発ポスター・書道展

●共同募金ポスター・書道入賞者表彰式
(16日(土)　14:00～)

ボランティアグループ活動紹介展

模擬店

●カレーライス・おでん・ぜんざいなどの販売
(17日(日)　10:30～14:00)

●みたらし・ポップコーン・わた菓子などの販売
(16日(土)　13:00～15:30)
(17日(日)　10:30～14:00)

福祉機器展

介助用品等の展示

ふれあい餅つき大会

(17日(日)　14:30～)

盲導犬PRコーナー

(16日(土)　13:30～15:00)

介助犬PRコーナー

(17日(日)　10:00～12:30)

ボランティアグループ活動発表会

(16日(土)　13:00～)
(17日(日)　10:30～)

2　階

福祉団体・福祉施設・行政活動紹介展

ふれあいバザー

●障害者のみなさんが作った製品、ボランティアの方々が持ち寄った手芸品やバザー用品の即売会

ふれあいの輪をひろげよう!!

VOLUNTEER

ひと夏の思い出…

出会いふれあい ボランティア体験!!

この夏、市内の中学生・高校生186名が30ヶ所の福祉施設での『ボランティア福祉体験学習事業』に参加しました。連日の猛暑の中、汗びっしょりになっての作業の手伝いや、お年寄りや障害者とのふれあいを通じて、新たな発見、感動が生まれました。また小学生41名も盲導犬訓練センター見学会に参加しました。

お話し相手（いわと）

風呂あがりのお手伝い（萩の里）

フックのゴム付け（樫の木作業所）

袋詰め（おりすと作業所）

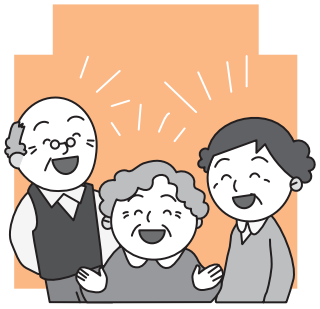
ビンの選別（コスモス）

体験歩行（盲導犬訓練センター）

催しものご案内

「福祉のつどい」

と　き：11月7日（日）午前10時～午後2時
ところ：尾西商工会館、駐車場
　　一宮市小信中島字川南36
主　催：一宮市尾西ボランティア連絡会
後　援：一宮市社会福祉協議会、中日新聞他
内　容：・ボランティア活動紹介コーナー
　　・福祉体験コーナー
　　・模擬店コーナー
　　（みたらし、ぜんざい、フランクフルトなど）
　　・ボランティアグループによる演芸



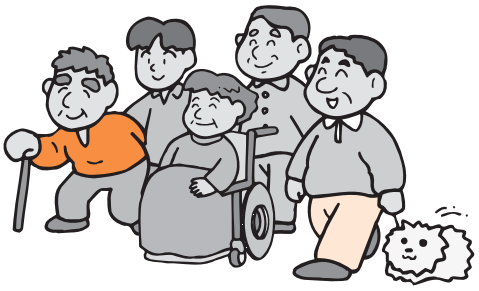
第21回「コスモス祭り」

と　き：11月28日（日）午前10時～午後2時30分
ところ：彦田公園（花池4丁目）
主　催：社会福祉法人　コスモス福祉会
　　第21回　コスモス祭り実行委員会
内　容：・授産施設製品の販売
　　・模擬店
　　・リサイクルバザー
　　・ステージ企画
　　・ゲーム企画　　など
　　※ボランティアも募集中です。
問合せ：コスモス福祉会　あおぞら　本山
　　TEL77-7137

『かしの木 フェスティバル』

～つなごう　てとて
ひろげよう　みんなのわ～

と　き：10月31日（日）午前10時～午後2時
ところ：冨田山ひろば（尾西グリーンプラザ北）
主　催：樫の木福祉会、かしの木の会
内　容：・各種団体等のステージ
　　・模擬店コーナー
　　（おにぎり、豚汁、ジュースなど）
　　・手芸品・近隣社会福祉施設バザー
　　・フリーマーケット
問合せ：樫の木福祉会　かしの木の里　伊藤
　　TEL63-2111



『きそがわボランティア フェスティバル2010』

～コムネックス
みづほ文化祭と同時開催～

と　き：11月3日（祝）午前10時～午後2時
ところ：一宮市高齢者生きがいセンター
　　一宮市木曽川町黒田字西沼51
主　催：一宮市木曽川町ボランティア連絡協議会
内　容：・ボランティア活動体験
　　・ミニ公演（大正琴・オカリナなど）
　　・福祉バザー
　　・模擬店コーナー
　　（すいとん、カレー、焼きそばなど）
　　・先着入場者150人に粗品進呈

ケアマネジャーだより

── 介護保険の支援サービス ──

前回に引き続き、介護保険サービスの流れについてお伝えします。

今回は、認定結果が出された後に行う「ケアプラン」（「居宅サービス計画書」とも言います）の作成についてお話しします。

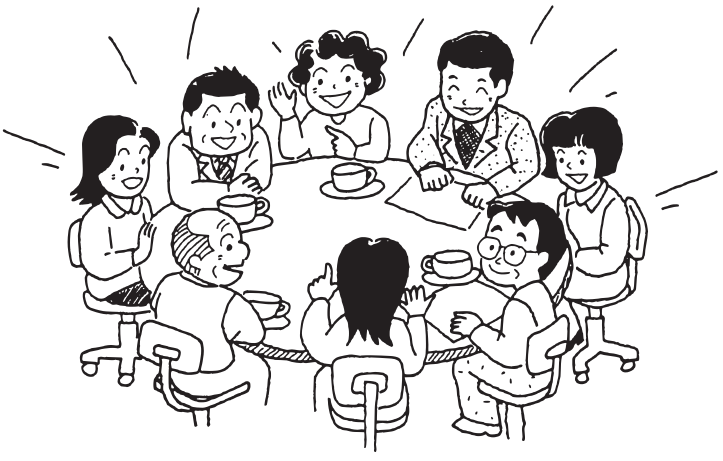
ケアプランの作成は、ケアマネジャーが利用者の心身の状況や希望を本人や家族の方から聞くことから始まります。

例えば、自宅の風呂に自分だけでは入れなくなった方がいるとします。ケアマネジャーは、「どういう理由で入れなくなったのか」とか、「そのことを本人や家族はどう思っているのか」といったことを聞きながら、どうしたらお風呂に入れるようになるのかを一緒に考えていきます。

デイサービスに行って入浴する方法、ヘルパーに訪問してもらい自宅で入浴介助してもらう方法、住宅を改修（手すりを設置したり段差を無くすなど）し、シャワーチェアー（立ち上がりし易い構造の椅子）を利用して自力で入浴できるようにする方法など、色々ある中から最も適した方法を話し合って決めます。

また、介護サービスの種類、介護度に応じたサービスの限度、負担額など詳しく説明をさせて頂きます。

次回も、介護サービスの流れについてお伝えします。



「傾聴」って何ぁーに？

最近、「傾聴」という言葉をよく耳にします。
一言で言えば話し相手になり心のケアをする事です。
話し相手ぐらい何時もやっていると思われるでしょうが、相手の身になってお話を聴く「共感」という事はそうたやすい事ではありません。
真の対話は相手の話をそのまま聴くことから始まります。
そのまま聴く為には相手の人生（物の見方や考え方）を知らなくては解りません。

◎もし、あなたが心の優しい人なら
　あなたはきっと相手の悩みを自分の事の様に一生懸命に解決しなければと悩むでしょう。
◎もし、あなたが相手と同じ体験をしていたら
　あなたはきっと自分の体験にかぶせて相手に助言をするでしょう。
◎もし、あなたが相手の考えを受け入れなかったら
　あなたはきっと自分の考えの方が相手には良いと思いそれを訴えるでしょう。
◎もし、あなたがあなたの事でいっぱいなら
　あなたはきっと相手が見えないでしょう。

話し手はこれらの事は望んでいないのです。

聞き手ができることは､相手の方にできるだけ多く話をしてもらい､そのことによって､その方自身の心の負担が少しでも軽くなる様にお手伝いをすること、また同時に、考えの整理がついて自分なりの判断や納得にいたるお手伝いをすることです。
人は基本的には、誰でも自分のことは自分で解決できる能力を持っていると信じられるからです。

傾聴の基本には、「心構え」と「スキル（技術）」があります。

●心構えの基本
①話す相手が主人公です。（人格の尊重）
②会話は話し手が７、聴き手は３です。
③反論・批判・非難しない。（受容）
④結論は相手に出させる。

●スキルの基本
①出会い（笑顔・挨拶・声のトーン・
　　相手との距離・姿勢・自己開示）
②うなづき・相づち（はい・うんうん）
③反射（相手の言葉をそのまま返す）
④要約・明確化・言い替え
⑤質問
⑥支持・共感的な励まし

もし、目の前に大切な人がいたら、30分で良いです、あなたの口を閉ざしてください。
人生を自分だけに与えられた時間ととらえたとき、その時間の30分だけプレゼントする気持ちで自分の考えを脇に置いてください。
傾聴は相談や討議・協議ではありません。
傾聴とは相手を元気にする時間ととらえてください。
必要に応じ傾聴スキルを道具としてあなたの人生に使ってみてください。
今まで以上に活きやすくなるでしょう。

傾聴ボランティア「みみの木」早川　一枝

編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／森　勝己、築城基裕、岩下茂子、石井恵子、東丘美子、小池涼子

～「団塊の世代」への期待～

「団塊の世代」とは、第一次ベビーブームとなった戦後復興期の、1947年から49年にかけて生まれた約680万人の世代のことをいいます。更にその期間の前後を含めると、その数は約1100万人に上り、総人口の約一割弱を占めています。そして、この世代の人たちは、2007年から順次定年を迎えて企業から去り、それぞれがリタイア後の生活に入っています。

団塊の世代が体験してきた三つの社会的背景

1．人生80年時代を生きる最初の世代

日本人の平均寿命は、江戸時代で45歳と推定され、平均寿命が50歳になったのは1947年頃で、奇しくもこの団塊の世代から急速に延びたのです。2008年には男女平均寿命は約83歳に迫り、2015年には総人口の約26%が65歳以上の超高齢社会になります。

2．この世代が受けた社会的影響

この世代の人達には、次のような社会的影響がありました。

●戦後の食料事情がよくなった（飽食）　●私生活重視ができるようになった（家庭重視）
●家事分担に抵抗感が少ない（男女平等）　●年金制度の恩恵を受ける最後の世代（制度改革）

従来の制約を余り受けることなく、自由な発想が出来た時代であり行動派と言われます。

3．社会から期待されていること

現在のＮＰＯ団体の多くは、その活動を戦略的にどう発展させていくのかについての戸惑いが見られます。福祉関係も複雑化しマネージメント力の強化が必要になりました。団塊の世代が現役時代に培ってきた豊かな経験を生かした活動を社会は期待しているのです。

今までのシニアは、リタイア後の人生を、どちらかと言えば個人的に楽しむことに満足する生き方でした。余生の楽しみ方は誰もが自由に選択できるものです。しかし、今後の超高齢時代を乗り切るためにも、「団塊の世代」の巨大なシニアパワーを社会は期待しています。福祉や地域ボランティア分野への、更なる参入と活動を願っているものです。

「フレディの遺言」

フレディ松川　著・こころ美保子　絵

今回ご紹介するのは、『フレディの遺言』です。

私が受講したヘルパー2級取得講座で講師の介護士が朗読して、とても心に響いた本です。

私がまさか　ボケることはないと思われるかもしれませんが、
先のことは　私にもわかりません。
万が一のときのために、家族や、私の介護にあたってくださる人へ
次のようなことを　今からお願いしておきたいと思います。

長年にわたり何千人もの患者を診続けた老人病院の院長が、
「私がそうなったら、そうしてほしい」と思うことを温かい言葉でしたためています。

今までの自分を忘れてほしいこと。何をやってもすぐ忘れる病気の人だと思ってほしいこと。
頭の中がモヤーッとしてとても不安で怖いこと。だから怒鳴らないで優しく笑顔で接してほしいこと。
心が寂しい時、若い頃に大好きだった曲を聞かせてほしいこと。
どれだけ知性が破壊されていても、その分、感性だけは豊かなのだから

認知症は記憶障害を中心にして、いくつかの知能が衰えることにより日常生活がスムーズに送れなくなる病気です。その基本症状に妄想や徘徊などの随伴症状が加わることで、介護はますます大変になっていきます。

家族が認知症になったときのために、自分の認知症を防ぐために、様々なアドバイスが書かれています。

今、介護と向き合っている方を始め、多くの方にぜひ読んでいただきたい絵本です。

ボランティア交流会から

さる6月6日（日）尾西庁舎６階で、尾西地区のボランティアさん33名が集まり交流会が開かれました。

これまでもなかなかボランティアさん同士で話す機会がなかったので、何かきっかけになるようなイベントがあればと思っていた人も大勢いたように感じます。

この交流会では、自己紹介に始まり、自己のボランティア活動を話し合い、その後ゲーム等の交流を通じ、とてもよい雰囲気になっていました。

初めて参加した高校生は、たくさんの人から声をかけられ、とても嬉しかったと話しており、今後の活動も前向きにがんばってくれることでしょう。

次回、交流会を開くときは、一宮全体のボランティアさんを集め、一段と大きい交流ができればいいなと思っています。

「介護と暮らし」　実録体験レポート4

～介護生活を取り巻く社会的インフラについて考えてみたが…～

今回は、“介護”に関わる暮らしには欠かすことのできない、社会インフラについて考えてみたいと思います。

「要介護２」である私の父は現在、週１回のデイサービス（入浴含む）と週２回ホームヘルパーによる家事支援を受けています。それとは別に、私の妻が２歳の子供を抱え、毎日訪問し、食事提供と家事全般の援助を行っています。現在はとりあえず、上記のサービスを受け、日々ギリギリの生活を送っていますが、今後の衰えや状況の変化に対してこの先どうしていったらいいのか？どうすることがベターなのか？こんな思案が頭から離れない日はありません。

現代日本において、介護保険制度が始まってから10年以上が経ち、国や地方自治体、福祉団体、NPO法人、民間事業者に至るまで、介護に関わる様々な施設やサービスが存在しています。その中には、“介護”に全く縁のない人ばかりでなく、一般的にあまり知られていないサービスや施設も多いのではないでしょうか？私が知っているだけでも、まず施設としては、有名な「特別養護老人ホーム」をはじめ、「老人保健施設、グループホーム、軽費老人ホーム（ケアハウス）、短期入所施設（ショートステイ）、最近ではケア付き高齢者専用住宅（マンション）など」といったものもよく目にします。皆さんこれらの違いがわかりますか？私も曖昧なことばかりです。「特別養護老人ホームは、申し込んでも３年待ちだよ～」な～んて話しは誰かから聞いたことがあるかもしれません。また、介護サービスとしても、在宅で受ける「訪問介護サービスを基本に、訪問入浴介護、訪問リハビリ、等」があります。

他にも生活サービスの視点から本当に多種多様なサービスが様々な主体者から提供されています。正直、こんなに色々あっても、どれがどんなもの？どれくらいの費用がかかる？どのようなメリット（デメリット）がある？どうやって申し込むの？つまりは、うちの○○さんにとってはどれがいいの？誰か教えて～！といった状況になるのではないでしょうか？もちろん、被介護者の（家族の）状況で変わってくるんでしょうが。

一般的には、ケアマネージャーやソーシャルワーカー、社会福祉士といった方々に相談するのが普通なんでしょうかね。うーん、**“介護生活スーパーアドバイザー　コーディネーター　スペシャリスト”**（笑）なんて人がいたら重宝されると思いますが…。

皆さんどう思われますか？

社会福祉協議会の事業から

北方中学校での福祉実践教室のひとコマ

神山支会ひとり暮らし老人と地域のふれあいの会

防災ボランティアコーディネーター養成講座
実技：救助法のひとコマ

障害者とボランティアのふれあいバスツアー
太秦映画村見学

社会福祉法人　一宮市社会福祉協議会

本　部

〒491-0847　一宮市大和町宮地花池字中道9番地16
TEL〈0586〉24−2940（代表）　FAX〈0586〉72−5022
ホームページ　http://www.138sk.org

尾西支部

〒494-8601　一宮市東五城字備前12番地
（一宮市役所尾西庁舎東館4Ｆ）
TEL〈0586〉63−4800
FAX〈0586〉61−2970

木曽川支部

〒493-0001　一宮市木曽川町黒田字西沼51番地
（一宮市高齢者生きがいセンター内）
TEL〈0586〉87−2000
FAX〈0586〉86−0309

本紙は目の不自由な方のためにテープに録音し貸出しており、点字版広報も配布しております。ご希望の方は本部まで